

各 位

上場会社名	中央物産株式会社
代表者	代表取締役社長 児島 誠一郎
(コード番号)	9852)
問合せ先責任者	専務取締役 原 幸男
(TEL)	03-3796-5075)

業績予想の修正及び特別損失に関するお知らせ

特別損失の計上と最近の業績動向を踏まえ、平成26年10月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	132,000	200	200	△260	△23.67
今回修正予想(B)	130,000	△100	△100	△1,300	△118.36
増減額(B-A)	△2,000	△300	△300	△1,040	
増減率(%)	△1.5	△150.0	△150.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	136,683	1,258	1,266	859	78.24

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	110,000	△400	△600	△54.62
今回修正予想(B)	108,000	△700	△1,600	△145.67
増減額(B-A)	△2,000	△300	△1,000	
増減率(%)	△1.8	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	115,084	1,032	730	66.48

修正の理由

通期の連結業績予想について、消費税増税前の駆け込み需要の反動減や可処分所得減少による節約志向などにより、消費の回復は想定よりさらに遅れています。併せて、新規物流拠点への投資や物流拠点の統廃合費用に加えて、不要設備の除売却、減損による評価減などの一時的費用の更なる増加によって、営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれも前回の業績予想を大きく下回る予想となりました。

物流拠点の統廃合に伴う一連の損失見込額は、11億4千7百万円を事業再編損として特別損失に計上する予定であります。

また、翌期以降の収益改善を目的とした物流センターの拠点統廃合などの効率化計画は今期末までに完了する予定であり、来期以降は通常の状態に戻る予定であります。

なお、配当金につきましては、予定通り 12円を見込んでおります。

個別の業績予想の修正理由については、連結と同様のため省略いたします。

(注)上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上